

看護師養成所3年課程自己点検・自己評価表 養成施設名 諏訪中央病院看護専門学校			平成 25 年度 自己点検・自己評価 結果				
評価項目			当 る 3 は ま	は や ま や ま 2 て	ら な て い ま	評価の概要と今後の課題	
大項目	中項目	評価対象項目					
I 教育 理念 ・ 教育 目的	法的整合性と 独自性	(1)教育理念・教育目的は、自養成所の教育上の特徴を示している。	3			教育理念に当校の教育の特徴が謳われており、法律との整合性は学則第1条に記載されている。	
		(2)教育理念・教育目的は、法との整合性がある。	3				
	教育理念・教育目的の 意義と周知	(3)教育理念・教育目的は、学生にとって学習の指針になるように具体的に示している。	3				教育理念・教育目的は学生便覧にて学生に周知しているが、アンケートからは目的の理解が低い結果となっている。
		(4)教育理念・教育目的は、実際に学生の指針になっている。		2			
	看護専門職に ついての考 え方	(5)教育理念・教育目的は、養成する看護師の質を保証するために、どのような教育内容を設定しているかを述べている。	3				教育理念に、看護実践者として、深い思いやりと科学性を持った看護実践力のある看護師育成を目指していることが明記されている。しかし、具体的にどのような教育環境を取るのかはしめず文書はない。
		(6)教育理念・教育目的は、養成する看護師の質を保証するために、どのような教育方法をとるのかを述べている。		2			
(7)教育理念・教育目的は、養成する看護師の質を保証するために、どのような教育環境をとるのかを述べている。			2				
看護教育に ついての考 え方	(8)教育理念・教育目的は、看護、看護教育、学生観について明示している。	3			教育理念に明示されており、教育目的・目標・シラバス・実習要項へとつながるようにカリキュラムが構成されている。		
	(9)看護・看護学教育・学生観は、実際に教師の教育活動の指針となっている。	3					
教育理念・教育 目的の 評価	(10)教育理念・教育目的は、養成する看護師が卒業時点で持つべき資質を明示している。	3			卒業時の到達度について、3年時他のすべての科目が終了後臨床応用看護論にてOSCEを全学生に実施し、個々の看護実践力の確認を行っている。結果としては、全員評価点は到達レベルに達しており、質の保証となっている。		
	(11)卒業時点で持つべき資質は、社会に対する看護の質を保証するものに妥当なものとなっている。	3					
II 教育 目 標	教育理念・教育 目的の一貫性	(12)教育目標は、教育理念・教育目的と一貫性がある。	3			学生便覧において教育理念・目的・目標は明記されており、教育理念から下ろしたものが、教育目標として具体的に示されている	
		(13)教育目標は、設定した教育内容を網羅している。	3				
	目標内容の側面 と到達レベル	(14)教育目標は、最上位の目標として、教育活動のゴールが読み取れるものになっている。	3				各学年での到達目標が、学年目標としてそれぞれ教務会での報告や資料配布という形で明示されている。最上位の目標は学生便覧の教育目標で明記されている。
		(15)教育目標は、目標内容と到達レベルが対応している。	3				
	設定意図とその 明確性	(16)教育目標は、具体的で実現可能なものとなっている。	3				教育理念から下ろした目的であり、具体的に学生便覧・授業要覧に明記し、学生に配布してある。しかし、学校評価の調査結果から、教育目標に対する学生の周知度や意識がやや低い。
		(17)看護実践者としての能力を育成する側面と、学習者としての成長を促すための側面から教育目標を設定している。	3				
継続教育との関連	(18)卒業後の継続教育の考え方を示した上で、教育目標を設定している。		2		学生便覧に明示してあるが、就労状況に対する施設側の評価は定かではない		
III 教育 課程 経 営	教育課程経営 者の活動	(19)教育課程編成者と教職員全体は、教育課程と授業実践、教育評価との関連性を明確に理解している。	2			関連性のりかについてアンケート結果より2013年度は2.8と2012年度の3.14より下降傾向にあった。新人職員2名を迎え関連性の把握までには至らなかった事が予想される。新人職員の指導方法に課題を残す。	
		(20)教育課程編成者と教職員全体は、教育理念・教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っている。		2			
	教育課程経営 の考 え方と その 具 体 的 な 構 成	(21)看護学の内容について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している。	3			学生便覧、授業要覧、実習要項に明記されているが、学生の成長について明確な考え方と根拠については各担任の考え方をベースに教務会で検討している	
		(22)学修の到達について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している	3				
		(22)学生の成長について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している。	3				
		(23)明確な考え方と根拠をもって科目を構成している。	3				
		(24)明確な考え方と根拠をもって単元を構成している。	3				
		(25)科目と単元の構成の考え方は教育理念・目的、教育目標と整合性がある。	3				
		(26)構成した科目は看護師等を養成するのに妥当である。	3				
	教育計画	(27)構成した科目は養成所の特徴をあらわしている。	3			学生便覧、授業要覧、実習要項に明記されている。科目の配列については教務科長が作成し、担任、教科担当者が学習の質の保証を考慮し修正している	
		(28)単位履修の方法とその制約について教師・学生の双方がわかるように明示している。	3				
		(29)単位履修の方法は学生の単位履修を支援するものとなっている。	3				
	教育課程評価 の 体 系	(30)単位履修制の考え方を踏まえつつ、看護師等になるための学修の質を維持できるように、科目の配列をしている。	3			学生便覧、授業要覧、実習要項に明記されている。大学進学希望者の編入に必要な学習内容になっている。教育課程の評価方法を体系化していない。部分の評価をしているが、全体の評価にまで至っていない。課題である。また、倫理規定を明確にしていない。	
		(31)単位認定の基準は看護師等に必要なる学修を認めるものとして妥当である。	3				
		(32)単位認定の方法は看護師等に必要なる学修を認めるものとして妥当である。	3				
		(33)他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えている。	3				
		(34)教育課程を評価する体系を整えている。		2			
	教員教育・研究 活動の 充 実	(35)評価結果の活用における倫理規定を明確にしている。			1	担当科目や時間数が均等化されず、教員によって知己の授業実施数におおきなバラツキが生じている。その為に学内で教材研究の時間を十分とれていない。授業準備は休日や残業で行っている。研修日の確保や保証、研究の経済的な助成はない。年1回の学会などの参加の保証はある。また、授業案検討会を通し考え方を伝えあう場はある	
(36)教員が専門性を発揮できるように、教員の担当科目と時間数を配分している。				1			
(37)教員が授業準備のための時間をとれる体制を整えている。				1			
(38)教育課程の実践者である教員が自ら成長できるよう、自己研鑽のシステムを整えている。			2				
学生の看護実 践体 験の 保 障	(39)教員が相互に成長できるよう、相互研鑽のシステムを整えている。		2		隔月の臨床指導者会で実習目的や方法、課題の解決をしている。その他にも個別に臨床指導者と実習担当教員は必要に応じて連絡を取り、学生の学習環境を整えている。しかし、臨床指導者はスタッフ業務と兼務しているため、会議や打ち合わせ、カンファレンスの出席に私的時間を割いてもらう事もしばしばあり、課題である。ケアを受ける対象者の権利については実習要項に明示しオリエンテーションでも強調している。事故については発生時のルートを明確に示しインシデント、アクシデント報告書を作成し適宜検討している。学生のPTSDに留意している。また、学生の学習進度に応じて医療安全教育を導入している		
	(40)臨地実習施設は、養成所の個別の教育理念・教育目的、教育目標を理解している。	3					
	(41)臨地実習施設は学生の看護実践の学習を支援する体制を整えている。	3					
	(42)臨地実習指導における学生の学びを保障するために、臨地実習指導者の役割を明確にしている	3					
	(43)臨地実習指導における学生の学びを保障するために、教員の役割を明確にしている。	3					
	(44)臨地実習指導者と教員の協働体制を整えている。		2				
	(45)学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示している。	3					
	(46)対象者の権利を尊重する考え方に基づいて、学生への指導を計画的に行っている。	3					
IV 教 授 ・ 学 習 ・ 評 価 過 程	授業内容と教育 課程の一貫 性	(47)臨地実習において学生が関係する事故を把握、分析している。	3			授業要覧に、科目の概要、学習目標が記されており明確になっている。授業内容に関しては、各教員が授業計画を立案し授業内容を検討している。検討の際には、重複整合性の有無を確認している。	
		(48)学生に対する安全教育、安全対策を計画的に行っている。	3				
		(49)授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されている。	3				
		(50)授業内容のまとまりの考え方を明確に述べている。	3				
		(51)授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性をもっている。	3				
	授業の展開過 程	(52)授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性がある。	3				授業計画を立案の際に、授業形態の確認をしている。学生には、授業要覧に明示するとともに、授業によっては、具体的な授業計画を資料として配布している。授業の中で行なわれる技術は、臨地実習とリンクするような形をとっている。演習・技術テストに関しては、教員全員で協力している。
		(53)授業内容間の重複や整合性、発展性等が明確になっている。	3				
目標達成の評 価とフィード バック	(54)授業形態(講義、演習、実験、実習)は、授業内容に応じて選択している。	3			授業計画を立案の際に、授業形態の確認をしている。学生には、授業要覧に明示するとともに、授業によっては、具体的な授業計画を資料として配布している。授業の中で行なわれる技術は、臨地実習とリンクするような形をとっている。演習・技術テストに関しては、教員全員で協力している。		
	(55)授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践している。	3					
	(56)授業の展開過程の他に、学生の実習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援している。	3					
	(57)学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしている。	3					
	(58)評価計画を立案し、実施している。		2				
	(59)評価結果に基づいて、実際に授業を改善している。		2				
学習の動機づ けと支援	(60)学生および教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れている。	3			授業評価は、学生に授業評価をとり各教員が次年度の授業に反映させている。しかし、計画通りに評価できていない科目もある。筆記試験以外にレポートや課題、技術テストを評価している。教育目標の達成状況は、授業評価での学生の反応と終講試験等の科目の評価により把握している。単位認定に関しては、授業要覧に提示し評価方法等を明確にしている。提出物、試験結果は、速やかに学生に返却され、自己の学習に活用できるようにしている。		
	(61)教育目標の達成状況を多面的に把握している。	3					
	(62)学生に単位認定のための評価基準と方法を公表している。	3					
設置者の責 任	(63)単位認定の評価には公平性が保たれている。	3			入学時に、授業要覧を配布し学生に提示している。授業目的、目標、内容に関しては、教務会議のもと修正されている。学生も内容が明確になっていることで、事前学習に結びつけられる学生もいる。しかし、学習の動機づけとはなっていない学生もいる。		
	(64)シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一貫性がある。	3					
	(65)シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっている。		2		具体的な文書はなく、教職員会議での決定が主となる。教職員		
	(66)養成所の管理者は教育課程経営についての考え方を明示している。			1			
	(67)養成所の管理者は教育評価についての考え方を明示している。		2				

看護師養成所3年課程自己点検・自己評価表 養成施設名 諏訪中央病院看護専門学校			平成 25 年度 自己点検・自己評価 結果			
評価項目			当 る 3 は ま	は や ま や る 2 て	ら な て い ま	評価の概要と今後の課題
大項目	中項目	評価対象項目				
V 経営・ 管理過程	設置目的の 指針	(68)養成所の管理者は養成所の管理運営等についての考え方を明示している。	3			会議には全教員が参加し運営の方向性や考え方の周知はされているが、アンケート結果ではやや低い結果となった。
		(69)明示した管理者の考えと、設置者の意思とは一貫性がある。	3			
		(70)教職員は養成所の設置者と管理者の考え方を理解している。		2		
	組織体制	(71)養成所の組織体制は、教育理念・目的達成するための権限や役割機能が明確になっている。	3			組織構成及び枠割分担については文書で明示されている。全体の意思決定機関としては、教職員会議があり、正職員は全員出席するため決定事項の周知はされている。教員任用においては各専門の実践力のある看護師を採用したいところではあるが、現実的には整合性は取れてない。しかし、資質向上の各部門の学会への参加研修は希望に添えられるようにしている。
		(72)意思決定システムが明確になっている。	3			
		(73)意思決定システムは、組織構成員の意思を反映できるように整えられている。	3			
		(74)意思決定システムは、決定事項が周知できるように整えられている。	3			
		(75)組織の構成と教職員の任用の考え方と、教育理念・教育目的達成との整合性がある。		2		
	財政基盤	(76)教職員の資質の向上についての考え方と対策には教育理念・教育目的達成との整合性がある。		2		設置主体は市村組合のため、財政は破たんすることはない。予算獲得には、明確な構想が求められ、厳しいものがあるが教育備品についてはほぼ認められている。
		(77)財政基盤を確保することについての考え方が明確である。	3			
		(78)財政基盤を確保することについての考え方は、学習・教育の質の維持・向上につながっている。	3			
	施設設備の整備	(79)教職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解している。	3			管理者からの明治で環境整備をする明文はなく、教員からの要望及び事務により整備計画を立て学習環境の整備を行っている。しかし、施設の老朽化に伴う高額な支出は数年単位で計画。学習環境のアメニティは充分とは言えない。
		(80)教職員のそれぞれの観点からの財政についての意見は、経営・管理過程に反映できるようにになっている。		2		
		(81)学習・教育環境の整備について、管理者の考え方を明示している。			1	
		(82)管理者の考え方に基づいて整備計画を立案し、実施している。		2		
		(83)看護の専門職教育に必要な施設設備を計画的に整備している。	3			
		(84)医療・看護の発展や学生層の変化に合わせて、施設設備を整備・改善している。	3			
	学生生活の支援	(85)養成所が設置されている地域環境との関連から学生および教職員にとっての福利厚生施設の整備を検討している。		2		学習困難者には、担任が主に個別指導を行っている。学費等への支援は各奨学金や設置主体組合の病院からの奨学金も優先して受給できる体制は整っている。精神的なカウンセリングについても、カウンセラーはいるが常駐ではなく活用は不十分な状況。
		(86)学生が学生生活を円滑に送り、教職員が職務を円滑に遂行できるように施設設備を整備している。		2		
		(87)学生が入学後に学修を継続できる支援体制を多角的に整えている。	3			
養成所に関する情報提供	(88)学生が活用しやすいように学生生活の支援体制を整えている。	3			保護者に対しては、入学式後に学校からのお願い事項及び担任を紹介し、連絡を密にしていける必要性をつたえている。単位取得状況は年度末に保護者宛に、郵送し学習状況を伝えている。県内出身高校には、高校訪問を行い、学生の現況を伝えている。広報は、ホームページの活用と業者主催の進学説明会、学校見学会にて行っているが、受験生の減少傾向は止まらない。	
	(89)支援体制は、実際に学生に活用され、学修の継続を助けている。	3				
	(90)教育・学習活動に関する情報提供を関係者(保護者等)に行っている。	3				
養成所の運営計画と将来構想	(91)関係者(保護者等)への情報提供は関係者から協力・支援を得ることにつながっている。		2		年間計画は立てているが、中長期計画は、文章としてはない。	
	(92)看護師等を養成する機関としての存在を、十分にアピールする広報活動を適切に行っている。	3				
	(93)広報の内容は、社会的説明責任を果たすものとなっている。		2			
	(94)養成所は明確な将来構想のもとに、運営の中・長期計画、短期計画、年間計画を立案している。		2			
	(95)その実施・評価は将来構想との整合性をもっている。		2			
自己点検・自己評価体制	(96)自己点検・自己評価の意味と目的を理解している。	3			自己点検は、しているが実際にシステムとして運用されているところまでは至っていない。	
	(97)実際に自己点検・自己評価を行うための知識と方法を明確にもっている。		2			
	(98)自己点検・自己評価体制を整え、運用している。			1		
	(99)自己点検・自己評価は、養成所のカリキュラム運営、授業実践にフィードバックするように機能している。			1		
VI 入学	(100)自己点検・自己評価体制は、養成所の教育理念・教育目的、教育目標の維持・改善につながるよう機能している。			1	入学希望者に当校の教育理念や方針が伝わるよう、募集要項とともに当校の教育理念等の資料を配布している。入学試験実施規定や社会人選抜、推薦入学に関する内規はあるが、入学希望者選抜方針が明記されたものがない。入学希望者選抜方針の決定は、入学試験に関しては教職員会議にて検討・周知されている。入学希望者選抜方法は学生数や比率選抜方法性別の退学等の比較、卒業時の成績等加味しながら検討を行っている。	
	(101)教育理念・教育目的の一貫性をもって入学希望者選抜についての考え方を述べている。		2			
VII 卒業・ 就職・ 進学	(102)入学希望者状況、入学希望者の推移について、入学希望者選抜方法の妥当性および教育効果の視点から分析し、検証している。	3			卒業時の到達状況、就業・進学状況を把握し、分析を行っている。今年度、卒業生の活動状況として、看護実践能力自己評価尺度を用いた調査を開始した。しかし、卒業生の就業先との情報交換や調査を実施する体制が整っていないため、卒業生の活動状況の客観的な評価ができていない。	
	(103)卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、計画的に行っている。	3				
	(104)卒業時の到達状況を分析している。	3				
	(105)卒業生の就業・進学状況を分析している。	3				
	(106)卒業生の到達状況、就業・進学状況についての分析結果は、教育理念・教育目標との整合性がある。	3				
	(107)卒業生の就業先での情報を把握し、問題を明確にしている。		2			
	(108)卒業生の就業先との情報交換や調査の実施等ができる体制を整えている。		1			
VIII 地域社会/ 国際交流	(109)卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理している。		2		地域社会のニーズに応じ活動はできている。具体的には、学校行事である看護の日の施設訪問や学生自治会主体のボランティア活動また地域の文化活動、病院祭に参加し、地域との交流を深めている。学校から地域への情報提供は、ホームページや学校見学会、文化祭、学校訪問などを通じて教育活動の発信はできている。教育活動には地域の社会資源を活用して授業や実習に取り入れている。今後も地域社会との交流を深め地域のニーズを把握し、教育活動に反映するよう努力する必要がある。	
	(110)卒業生の活動状況の分析結果を、教育理念・教育目的、教育目標、授業の展開に活用している。		2			
	(111)社会と連携に向けて、地域のニーズを把握している。	3				
	(112)看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的にしている。	3				
	(113)養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段をもっている。		2			
	(114)養成所から地域社会へ情報を発信する手段をもっている。	3				
国際交流	(115)養成所が設置されている地域の特徴を把握している。	3			授業科目は統合分野の中に単元として設定している。講師は、海外で活動経験のある看護職である。国際的視野を広げるための学習環境は洋図書・インターネットは活用できる。広報も掲示している。現在まで進路で海外留学や就業を希望する学生はいない。もし希望があれば主に担任が対応するであろう。事実が起こらないとはっきりしないのが現状である。よって対応できる十分な体制という点では整えられていない。帰国学生や留学生の受け入れは学則第11条に定められている。25年度、3人(中国)受験したが不合格。	
	(116)地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れている。	3				
	(117)国際的視野を広げるための授業科目を設定している。	3				
	(118)国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えている。		2			
IX 研究	(119)海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制を整えている。	3			物的環境状況としては研究が出来る環境、研究時間の確保は各自で確保。財政的保障はされていない。	
	(120)留学や海外において看護職に就くこと等を希望する学生に対応できる体制を整えている。			1		
	(121)教員の研究活動を保障(時間的、財政的、環境的)している。			1		
研究	(122)教員の研究活動を助言・検討する体制を整えている。			1	研究活動を助言・検討するシステムとしては整えられていないが、教員相互支援し合うことは出来る職場環境である。	
	(123)研究に価値をおき、研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地が養成所内にある。			1		

実施日 平成 26 年 8 月 31 日
 学校長氏名 武井 義親
 記載者氏名 宮坂 光長